

統計書利用上の注意

1 統計書の構成

- (1) この統計書の全体編成は、「第 編 総括」、「第 編 直接国税」、「第 編 間接国税」、「第 編 徴収」及び「第 編 その他」からなっている。このうち、「第 編 直接国税」及び「第 編 間接国税」については税目ごとに配列している。
- (2) 計数は、大阪国税局の管内分を掲載しており、主要な計数については、税務署別及び県別を掲げるとともに、5年間の累年比較をしている。

2 統計表間の関連

「第 編 直接国税」及び「第 編 間接国税」の各統計表と「第 編 徴収」の「国税徴収状況」（17 - 1、17 - 2）の「徴収決定済額」欄とは、主として調査期間又は調査時点の相違により、計数は一致しない。

3 単位及び計数の処理方法

- (1) 各統計表の計数は、単位未満を四捨五入しているため、統計表の内容と計（計、小計、合計及び総計）が一致しない場合がある。
- (2) 単位未満の計数は「0」、該当する計数のない場合は「-」、計数不明の場合は「...」、負の計数は「 $-$ 」、該当する件数が少数であるため情報を保護する観点から計数を秘匿した箇所は「 \times 」と表示している。

4 統計書中の各表における元号の記載がないものについては、すべて「平成」である。

5 調査期間及び調査時点は、各統計表ごとに掲げている。

なお、主な統計表の調査期間は、次のページに記載しているとおりである。